

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第 302 号

令和 6 年 7 月 5 日

瀬戸市立幡山中学校



9年間を通じて子ども達の未来をつなぐ

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

瀬戸市全域で進められている教育活動に、「小中一貫教育」があります。日本において、義務教育は小学校6年間とその後の中学校3年間で指しますが、この二つの間には大きな隔たりがありました。そのため、「中一ギャップ」という言葉があるように、中学校に入学すると、これまでの生活とは大きく異なるため、そこに適応できず苦しむ子ども達が少なからずいるということです。それを少しでも解消するために、緩やかに小中の接続ができないかということで生まれたのが「小中一貫教育」です。義務教育の9年間を見通し、同じ目線で子ども達を見守り育てることを大切にしています。そこで幡山中ブロックの3校(幡山中・幡山東小・幡山西小)では、こんな子どもたちを育てたいという「めざす子ども像」を次のように掲げ、日々の教育活動を行っています。

○思いやりのある子 ○たくましく生きる子 ○地域に貢献できる子

また、小学校と中学校の教員が互いに行き来し、お互いの教育を理解することが一番の近道であることから、中学校の教員が小学校で授業を行う「乗り入れ授業」や給食交流を行っています。そして、「人とかかわる力を身につけるプログラム(ハタトーク)」を3校で同じように実施するなど、小学校でやってきたことが中学校でも継続されるようにしているため、それが子ども達の安心感や充実感につながっていると実感しています。

さらに、幡山中ブロックの「小中一貫教育」の目玉として、ここ数年継続して実施していることがあります。それは「福祉教育」です。一人ひとりが幸せに生きることができる社会の実現をめざすことは、多様性が叫ばれている今、最も大切なことだと思います。幸運なことに、幡山中ブロックは、瀬戸つばき特別支援学校と隣接しており、中学校の1年生において相互交流を続けています。今年度も6月12日に第1回の交流会を実施しました。子ども達の様子や感想から、とても充実した時間が過ごせたようです。当日の様子は裏面でも紹介しています。ぜひご覧ください。

体育祭

6月6日(木) 午前9時～
テーマ 飛翔 ～みんなてつかむ 夢への一歩～

今年度は6月の開催で天候が心配されましたが、晴天の下で行うことができました。今年度も多くの地域・保護者の方々に来校いただきました。ありがとうございました。当日は練習の成果を発揮しようと、大きな声で応援したり、声援に応えようと懸命に競技に取り組んだりする生徒の姿があり、見る側の心にも残る体育祭となりました。体育祭を通じて結んだ仲間との絆を、今後の生活につなげてほしいと思います。



1年生・1組 瀬戸つばき特別支援学校交流会

6月12日(水)

今年度も、1年生と1組生徒が南山口町にある「瀬戸つばき特別支援学校」へ出かけ、中学部の生徒との交流会を行いました。最初はお互いに緊張している様子もありましたが、自己紹介やゲームを通じて笑顔が生まれ、あっという間に打ち解けていました。次回は3学期に幡山中学校に来ていただき、2回目の交流会を行う予定です。



中総体 瀬戸・尾張旭地区大会

6月22日(土)～

3年生にとっては最後の大会となる地区予選大会が、先月末から本格的に始まりました。本校の生徒は部活動を中心に、延べ13種目に出場しています。上位大会への出場を決めた選手・チームもあります。残念ながら敗退となってしまった選手・チームもありますが、努力を続けたことは、今後の人生の糧となることでしょう。7月からは文化部のコンクールなども始まります。引き続き、応援をお願いいたします。

